

COMMONS PRESS vol.16

特集記事

抗う 学習

専門分野以外のことも
勉強したい！

学習にもおすすめ！
漫画『アンナ・コムネナ』の紹介

生き物の特徴を真似た
身の回りのものって知っていますか？

AI、機械学習、
深層学習って何だ？

かつて「スタンド」は
「幽波紋」であったッ！
—『ジョジョ』の奇妙な考察

この号の記事はすべて2022年度ラーニング・アシスタント(LA)が執筆しました。

目次

- | | |
|--------------------------------------------------|----|
| 専門分野以外のことも勉強したい！ | …1 |
| 学習にもおすすめ！
漫画『アンナ・コムネナ』の紹介 | …2 |
| かつて「スタンド」は「幽波紋」であったッ！
—『ジョジョ』の奇妙な考察 | …3 |
| AI、機械学習、深層学習って何だ？ | …4 |
| 生き物の特徴を真似た
身の回りのものって知っていますか？ | …5 |
| 知らないなんてもったいない！
アカデミックサポートエリア(ASA)を
ご存じですか？ | …6 |
| 特集記事「抗う学習」
インタビュー&アンケート | …7 |

専門分野以外のことも勉強したい！

「専門科目では自分が興味のある分野は勉強できない！」
 と思っていませんか？
 そこで今回は、大学で専門分野以外の分野を
 学ぶ方法について一部紹介します！

全学共通教養教育科目

すべての学部生を対象とした
 教養科目です。
 (分野に捉われず幅広い学問に取り組みます！)

筆者の体験談

複合領域科目で宇宙について学び、
 様々な領域の教授と意見交換する※1

※1 筆者の受講当時の内容です。
 ※2 年度や学部によって方針が異なる場合があるため、
 詳しい情報は所属学部事務室にお問い合わせください。

新島塾（高等研究教育院）

塾生向けに開講されている講義を
 少人数で受けることができ、
 専門分野を越えた友達もできます。
 詳しくは高等研究教育院のホームページで確認！

筆者の体験談

社会学の課題図書を読み込み、
 様々な学部の塾生とディスカッションする

大学は勉学だけにとどまらない
 「学びの場」です。

学ぶことは生涯通してできますが、学ぶ場所や
 機会を得るのは実は難しかったりします。

せっかく手に入れた大学生活4年間、大学と
 いう「場」をフル活用して、自分自身の学生生活
 をデザインしてみるのも楽しいですよ！

また、ラーニング・commons(LC)アカデミックサ
 ポートエリアでは、様々な専門の大学院生スタッフ
 に学びに関する相談ができます。レポートや論文
 の書き方からプレゼンの仕方など、大学での学び
 に関するあらゆる悩みや相談をお聞きし、アドバ
 イスしています。気軽に相談に来てください！

単位互換制度※2

同志社大学と提携している
 協定校(他大学)の講義を履修し、
 単位認定される制度です。
 (他大学にしかない講義があるかも…！)

筆者の体験談

同志社女子大学で
 日本文学の講義を受ける

他学部設置科目※2

所属学部以外で、他学部生の
 受け入れを行っている専門科目があります。
 (他学部の専門的な授業が受けられる…！)

筆者の体験談

理工学部生が文学部の
 講義を受けに行く

筆者のリアルな 時間割の例

	2019年のとある1日	2021年のとある1日
1		日本文学 @今出川
2	力学 @京田辺	日本文学 @今出川
3	シャトルバスで 移動 🚌	ゼミ(13:00-) @ネット配信
4	学食を堪能 @今出川	対面授業の 場合は 移動時間を考える のが大変…！ ネット配信授業の ときはLCで双方向 オンライン型授業 受講の指定エリア を活用しました
5	翌日提出の宿題 を仕上げる	
6		
7	近現代日本文学 @今出川	

※2020年は(新型コロナウイルス感染症拡大により)
 全面ネット配信授業が実施されていた年です

学習にもおすすめ！

漫画『アンナ・コムネナ』の紹介

あらすじ

アンナ・コムネナは11~12世紀のビザンツ帝国の皇女で、西洋中世史上唯一の女性歴史家です。前皇帝の息子と婚約し、その後皇帝になる予定だったのですが、弟が生まれ彼が皇位継承者となり、そのうえ婚約者も突然亡くなってしまい、さらに皇帝の座が遠のいてしまいます。物語は、新たに別の名門貴族の息子と結婚するところから始まります。この漫画は、アンナが皇位継承者の弟がいながらも(勝手に)皇帝になることを目指して頑張る話です！

おすすめポイント1 古典を身近に感じることができる！

登場人物は、教養が高く、アンナとその夫、ニケフォロスとの間の日常会話の中では、古典が引用されていることがあります！私の好きな場面は、アンナの家庭教師が、アンナの父、ビザンツ帝国皇帝アレクシオス1世コムネノスの暗殺計画に関わったことが分かり、ニケフォロスがアンナを励ます場面です。ここでは、ニケフォロスがヘロドトスの『歴史』などを引用しながら、「古代からこういう者(裏切り者)はいます。裏切りを恐れてあらゆる人間を疑うのは非効率です！」と力強く言います。授業で習った古典が、このように歴史上の人物にも影響を与えていたのかと思うと、より古典を身近に感じることができます。

おすすめポイント2 自ら学ぶ姿勢の大切さが分かる！

アンナは物事を勝手に決めつけず、学習したのちに判断します。漫画ではある占星術師がアレクシオス1世(アンナの父)の死を预言する場面があります。アンナは死の预言にただ怒るのではなく、预言の根拠について追究し、预言が正当でないことを説得力のある言葉で証明しようと努めるため、意見を主張する際の姿勢や学ぶことの大切さを知ることができます。

背景の写真は、執筆者がイタリアのラヴェンナで2022年6月6日撮影。
 ビザンチン美術のモザイク画を見ることが
 できるサン・ヴィターレ聖堂。



佐藤二葉『アンナ・コムネナ1』
 星海社COMICS、2021

かつて「スタンド」は「幽波紋」であったッ！ —『ジョジョ』の奇妙な考察

この記事の目的は、荒木飛呂彦氏による超長編漫画『ジョジョの奇妙な冒険』(以下、『ジョジョ』)の代名詞とされる「スタンド」が「幽」+「波紋」と説明される、その理由について考察することです。

『ジョジョ』シリーズ(1986年～)は、「波紋」で吸血鬼や究極生命体と戦う前史(第1部～2部)、悪霊的存在の「スタンド」を操る者同士で死闘を繰り広げる正史(第3部～)で構成されています。

「波紋」(図1)とは、特殊な呼吸法で体内に太陽光に匹敵するエネルギーを生み出す秘術であり、作中では主に第2次世界大戦期まで使われました。他方、80年代以降より本格的に登場する「スタンド」とは、人間の精神力を具現化した像(イメージ)を指します。持ち主の特徴に沿い、超常的な守備攻撃能力を発揮する守護霊のような存在のことで、第3部冒頭にて「波紋」と入れ替わるようにして現れた「スタンド」ですが、当初「幽波紋」(図2)と表記されていました。



(図1)『ジョジョの奇妙な冒険』[集英社文庫] 文庫版 第2巻、2002年、92頁。



(図2)『ジョジョの奇妙な冒険』[集英社文庫] 文庫版 第8巻、2002年、56頁。

物語の歴史は、19世紀末イギリスにおける義兄弟のジョナサン・ジョスターとディオ・ブランドーの因縁に始まります。ある出来事をきっかけにジョスター家の養子として迎えられたディオは、ジョスター家の乗っ取りを目論みます。しかし、その企みが暴かれるとジョナサンが研究対象としていた石仮面を被り、ディオは吸血鬼に姿を変えます。

人間の血を吸い、無敵の肉体とともに永久の命を生きるディオは、ある種の悪霊とも言えます。その後、波紋戦士になったジョナサンとの死闘の末、ディオの全身は溶解するものの、頭部だけで生き延びます。そして、外洋船で新婚旅行中のジョナサンに奇襲をかけ、彼の身体を乗っ取りながら船ごと海底に沈みます。

ここでついにジョナサンとディオの間に「真の」血縁関係が生まれ、ジョスター家とディオの血で繋がれた因縁は世紀をまたぐ壮大な物語を紡ぐこととなります。

この乗っ取りがただの吸血鬼化でないことは、沈没の際にディオへの奇妙な愛情を自覚しつつ、首首を抱きながら息絶えるジョナサンの姿を見れば一目瞭然でしょう。

ディオは悪霊的な不死性だけでなく、ジョナサンの身体に宿る「波紋」能力をも吸収し、新たな姿へと変化します。そして船の沈没から約1世紀後、偶然による復活を遂げたディオは、さらに新たな能力を身に付けます。それこそが「幽」+「波紋」=スタンドなのです。こうしてディオの覚醒に呼応するかのよう、ジョナサンの子孫たちも「幽波紋」能力に目覚め、ジョナサンの子孫たちとディオは対峙する運命に導かれてゆきます。

時空を越えた運命的な巡り合いのなかで(作中では「スタンド使いとスタンド使いは惹かれ合う」と表現されています)、当初は「幽波紋」と漢字で書かれていた能力は次第に「スタンド」へと名称が統一され、「波紋」も幽霊のごとく背景化します。そもそも『ジョジョ』の人氣が第3部発行以後に高まったこともあり、現在は『ジョジョ』=スタンド・バトル漫画として親しまれていますが、かつて用いられた「波紋」は完全に過去のものとなってしまったのでしょうか。

私たちはその答えを知っているはず。特殊な呼吸法を駆使し、鬼を倒すあの漫画が世界中に旋風を巻き起こしているということ。荒木飛呂彦氏の手から、『ジョジョ』から離れていった「波紋」は私たちの目には見えません。しかし、その「波紋」は確かに世界の人々を魅了しつつあります。この記事の筆者もそのひとりであるように。

荒木飛呂彦氏の手から、『ジョジョ』から離れていった「波紋」は私たちの目には見えません。しかし、その「波紋」は確かに世界の人々を魅了しつつあります。この記事の筆者もそのひとりであるように。

(グローバル・スタディーズ研究科 M2)

波紋とスタンドの両能力を有する唯一無二の存在・第2部の主人公ジョセフ・ジョスター(ジョナサンの孫)が前史の波紋篇と正史のスタンド篇を繋ぐ橋渡し役として第3部にも続けて登場することは象徴的です。

このように、創作物における当て字や独特な読み方は登場人物の生き様やこれまでの経緯を物語っていることも！『ジョジョ』の他にも作中の漢字に当て字が付いたら想像力を働かせてみよう。考える力を養う練習になるかも？思考力を育むコツを知りたい君、ASAへ行くぞ！(パ～ン)

AI、機械学習、深層学習って何だ？

AI、機械学習、深層学習(ディープラーニング)は、同じ意味で報じられることが多いのですが、本当は異なる意味や特徴があります。



それぞれの言葉について整理してみよう！

AIとは？

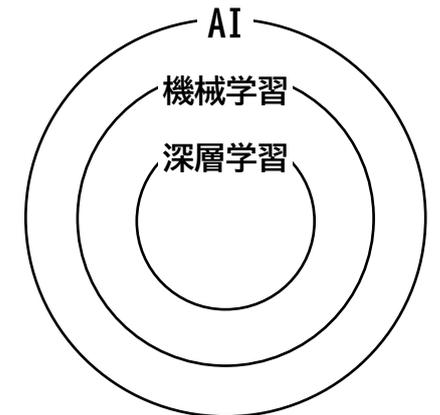
人工知能(Artificial Intelligence: AI)はコンピュータが人間のように「思考」することを可能にする技術を指します。AIの明確な定義はありませんが「**特定型人工知能**」と「**汎用型人工知能**」の大きく2つに分類することができます。特定型人工知能は天気予報システム、将棋囲碁プログラムなど、**特定の分野のみにおいて対応できる人工知能**のことであり、データをもとに学習し予測・識別を行います。一方で汎用型人工知能とは、役割が限定されず**自ら学習を行い、さまざまな課題を処理できる人工知能**を指します。柔軟性が高く、状況を理解して、取るべき行動を考えることができます。

機械学習とは？

機械学習とは、AI技術の一部であると言えます。機械学習の特徴はデータを利用して、**コンピュータが自ら学習することができる技術**です。これによりコンピュータは人間のように**タスクを自動的に実行**することができます。例えば、画像を認識したい場合、大量の画像データとそれらの答え(正解データ)を与えて学習させることで、新しい画像が届いた際にその画像が何か認識することができるようになります。

深層学習(ディープラーニング)とは？

深層学習(Deep Learning)は機械学習の手法のひとつです。深層学習がその他の機械学習と大きく異なる点は、**学習中にデータのどのような特徴をもとに分類・予測を行うかを判断**することです。画像認識、音声処理、言語処理などの分野では人間がデータの特徴を扱うことが困難であるため、このような分野で高精度のモデルを作ることに深層学習は大きく貢献しました。しかし多くの場合、**高精度のモデルは結果が導き出された過程について解釈することが困難**です。医療現場や品質保証の場面などでは「理由はよく分からないけど、こういう結果が出ました」では済まされません。手法の特性を理解し、データと状況に応じた適切な機械学習モデルを選択することが重要です。



ちよこつと豆知識 !!

～日本とアメリカのAIの違い～



日本では汎用型人工知能というと、softbankのペッパー君など人を模しているロボットが主流です。一方で欧米では人種差別があった文化的背景から、人型ロボットは奴隷制度を想起されるとされ、AmazonのAlexaなど人型でないロボット研究が多い傾向にあります。

(生命医科学研究科 M2)

生き物の特徴を真似た身の回りのものって知っていますか？

みなさんは生き物の特徴を真似た身の回りのものをご存知ですか？
 「なんとなくわかるけど、具体的なことはよく知らない・・・」
 「生き物の特徴を真似たもの・・・？そもそも何があるのか？」
 という疑問をもっている方にも、ぜひ読んでいただきたい記事になっています。
 この記事をきっかけに生き物の見方が変わるかも！？



新幹線が静かな理由は2種類の生物の形状を真似て作られているからです。

まず、新幹線の頭は、高速で水の中に飛び込むカワセミのクチバシを模倣しています。カワセミは、細長いクチバシを持つことで、水の抵抗を少なくしています。新幹線も、本当であれば、空気の抵抗によってすごい音を出すはずなのですが、カワセミのクチバシを模倣することで新幹線は空気抵抗が抑えられ、静かになっています。

もうひとつの理由は、パンダグラフ(屋根についた集電装置)に静かに飛ぶことができるフクロウの羽の構造が活かされ、空気抵抗が抑えられているからです。

ヤモリやカエルが壁や窓ガラスで徘徊しているのを見かけたことはありますか。ヤモリの足の裏には粘着物質があると考えられ、長年研究されてきました。

研究の結果、ヤモリの足の裏には4足で200万本の極細の毛があり、それぞれの毛体にファンデルワールス力という分子間引力が発生していることが明らかになりました。この結果をもとに超強力接着テープが開発されたのです。現在、100円ショップで「ヤモリテープ」、「カエルテープ」という名前で販売されています*。興味のある方は、お店でぜひ調べてみてください。
*2023年1月時点の情報



Image by AI素材.com
 このページで使用している画像はすべて「AI素材.com」の生成画像を使用しています。

(生命医科学研究科 M1)

現代社会には生き物の特徴を活かした製品が多くあります。しかし、私たちが発見できていない、応用可能性のある生き物の特徴もまだまだたくさんあると思います。生き物に少しでも興味を持って、観察したり、触れてみませんか。きっと発想の種が育ちますよ。

知らないなんてもったいない！ アカデミックサポートエリア (ASA)をご存じですか？

何をやる場所？

皆さんの学習に関する悩み・相談と一緒に考える場所です。
 例えば、以下のような相談内容を受け付けています。

対応可能なテーマ(例)

- レポートの書き方がわからない
- 卒業論文の構成を迷っている
- ゼミ発表の準備に行き詰った
- 参考文献の調べ方を知りたい
- プレゼンのリハーサルを見てほしい
- メールの書き方に自信がない
- 課題提出前に一緒に最終確認してほしい

誰がいるの？

ラーニング・アシスタント(大学院生スタッフ)、
 教員、アカデミック・インストラクターが
 常駐しています。

いつ行けばいいの？

月～金 10:30～17:30 ※開講日
 (休暇中の対応時間については別途お知らせします)

学年不問！
 初めてレポートを書く1回生は勿論、
 ゼミや論文に取り組んでいる
 4回生・大学院生も大歓迎！
 2名以上での相談も可能です！



良心館ラーニング・commons
アカデミックサポートエリア



ラーネット記念図書館ラーニング・commons
アカデミックサポートエリア



どこに行けばいいの？

- 今出川キャンパス 良心館ラーニング・commons(3階)
- 京田辺キャンパス ラーネット記念図書館
ラーニング・commons(1階)

注意！

- ① 1回30分程度を目安に対応しています。
- ② 何回でも利用可能です。
 少しずつ一緒に取り組みましょう。
- ③ ASAのスタッフは、あくまでも助言を行う立場です。
 課題の正解を教えることや、
 文献収集などの作業代行などは行えません。

うまく言語化できなくても大丈夫。

少しでも悩んだらお話をきてください！

詳しくは
 ラーニング・commons
 HPで検索！



<https://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp/>

Instagramも
 やってます！



DOSHISHA.LC

特集記事 両校地LAインタビュー

COMMONS PRESS vol.16の特集記事のテーマは「抗う学習」。この抽象的ですがこし尖ったテーマを、皆さんはどう解釈しますか。本特集では両校地のラーニング・アシスタント(以下、LA)から、FさんとOさんにご自身の研究のお話を伺い、その上で「抗う学習」とは何かを考えます。(聞き手:文学研究科 M2)

英語詩研究を通じて見るあの激動の時代と今

— Fさんはどんな研究をされていますか。

F) 文学研究科博士前期課程のFと申します。1930年代の英語詩です。いま(2022年12月)修論を七転八倒しながら書いてます！1930年代は、戦間期と呼ばれる時代です。同時代の社会の様子がどのように文学作品の中に反映されているのか研究しています。

— 面白い！どうしてその研究をされているのですか。

F) 文学＝小説、というイメージが強く、詩は近寄り難いかもしれませんが、詩を読む面白さにはまったからです。英語詩には様々なジャンルがあり、枠組み(決まりごと)が沢山あります。和歌もそうですよね？枠組みの中でいかに表現するか、もしくは枠組みをいかに破るか、という視点に興味を持ちました。あと、詩は声に出す文学であるという点もいいですね。授業でも「音読して訳す」のが毎回の宿題です。それが自分の性に合ってたんだと思います。小説嫌いな人でも詩を読むのを勧めたいです。

— なるほど。それでは、どうして30年代イギリスという時代に注目して、詩について研究されているのですか。

F) 社会的理由と文学的な理由があります。前者でいうと、社会背景が現代と似ているんです。1929年の世界恐慌以降、経済的な不況がひどくなって、極端な思想が流行り、社会が分極化しました。ヒトラーが首相になったのも33年なんですよ。いろんな国が軍事力に頼り始めた。こういった時代背景が今にとっても似ているから、研究する意味があるなって。

文学的な側面としては、詩には枠組みがあるって言いましたが、その何世紀も積み重ねられた枠組みを壊すようなモダニズム文学が出てきたのが20年代。その第2世代として出てきたのが30年代の文学なんです。あと、人々の移動が増加するにつれてイギリス文学・アメリカ文学の枠も曖昧になる。

— お話を聞いて、社会的なものや文学的なものの交差点がどこにあるのか気になりました。

F) やっぱ第1次世界大戦(以下、WW I)の影響が大きいんですね。WW I後の世界では、今まで通りのヨーロッパの大国のやり方ではもう無理なのでは？という疑念が、政治とか、経済とか、いろんなところで起こってくる。その一環で文学も「今までの枠組みではこの世界が書けないのでは？」となってきた。私は、W. H. オーデンという詩人の作品を研究してます。彼もかなり尖った作家ですが、こうした時代で尖ってること自体は、実は尖っていない。

「抗う学習」じっくりくるけれど…

— 抗わないと、自分の中心的な価値観も崩れてしまうような時代だったんですね…。今回のテーマにつながってきたので、ここで最後にお聞きしたいのですが、「抗う学習」って何だと思えますか？

F) 「抗う学習」と聞いたときに、とてもじっくりくる言葉であり、とても危ない言葉だと思いました。じっくり来たのは、抗う気持ちが新しい学びのきっかけになると感じているからです。学問の世界でも、「それ、違うんじゃない？」という気持ちが原動力になる。だから、抗う視点を持って学習することはいいことだと思う。

ただ、とても危ない言葉だと思ったのは、すっごい体力使うから！抗わなくていいなら抗わなくていいと思うんです。抗うためにはまず相手の言い分を理解しないとイケなくて、その過程で傷つくこともあります。だから、抗うことが美德だとか、必須項目だとは思ってないんです。

抗う学習も大切だけど、「抗う」よりも「学習」し続けることが何よりも大切だと思うので、抗う気持ちが出てきたときには、それが皆さんの原動力になればいいかなと思います。



続いては、生命医科学研究科博士前期課程のOさんにお話を伺いました。

技術的な困難を乗り越え一歩ずつ

— どんな研究をされていますか。

O) 私は、耳が聴こえない方、聴こえにくい方の聴力を補完する医療機器の研究をしています。

— 理系研究といえばコンピュータで複雑な分析をするようなイメージがあったのですが、Oさんは動物を使って研究されていると伺いました。

O) スナネズミですね。私が作りたい補聴器が赤光レーザーを使った補聴器なのですが、このレーザーを神経に照射したら神経活動が誘発される。だから、レーザーをネズミの聴神経に当ててあげたら、音が聞こえるようになるんじゃないか、という実験をしています。

— 神経なんだ！鼓膜じゃないんですね。

O) 難聴の種類の中に、鼓膜と神経の間にある細胞が機能しなくなって、音が聞こえなくなる方がいます。その細胞を介さずに神経を刺激することができるのが赤光レーザーです。

ただ、レーザーは強度が強くなればなるほど、熱が溜まってしまいます。安全域が分からないので、ネズミを使った実験をしています。ネズミさんには申し訳ないけど…。

— でも、ネズミは「聞こえました」と言ってくれるわけではないですよ。

O) そこが私たちが苦戦している所で…。

そこで、音が聞こえているか推定する方法がふたつあります。ひとつが、ネズミにレーザーを当てているときの神経活動を調べる。例えば脳のどこが動いているか調べ、人間の音を聞いているときの脳の反応と同じだったら、音が聞こえているのだろうと分かる、という方法です。

もうひとつが、私が今採用している方法なのですが…まず、ネズミに「音が鳴ったら水をなめる」って訓練するんですよ。そのように訓練したネズミの聴神経に赤光レーザーを照射してあげたときに、水をペロペロなめるってことは「レーザーを音として知覚してるんだな」ってわかる、という方法です。

「赤外光レーザーが聴覚の神経活動を誘発するから、たぶん音が聞こえてるんじゃない？」という研究はよく読んでいたのですが、学部生のころの実験で初めて訓練したネズミが水をなめたときに、「本当に音が聞こえてるんやな」とわかり、嬉しかったです。訓練したネズミを用いた行動実験(動物の行動に着目して行う実験)の先行研究はほとんどなかったの、所属している研究室の強みにもなったと思います。

今は、スナネズミをわざと耳を聞こえなくすることで、難聴者を模擬したスナネズミを作り、レーザーをそのネズミの聴神経に照射して、音として聞こえているか調べる研究をしています。

それで、そのネズミを難聴にする手術がめっちゃ難しかったんですよ！！最近やっとできるようになって「嬉しい～！たのしい～！」って思いました。他人に言ったら「やばいな」ってなるんですけど(笑) 実験手法的に難しいことが獲得できたのが嬉しかったです。

— 科学の不思議を解明する面白さがあるだけでなく、社会的にももの残すための研究という点にも、Oさんの研究の魅力が詰まっていると思いました。

O) それが研究の楽しいところです。遠い未来の話になるけれど、いつか物として残すための研究の、小さいけれどそのひとつになれたらと思っています。

基礎の積み重ねから生まれる「自分の意見」

— それでは最後にお聞きします。

Oさんは、「抗う学習」をどんな学習と考えますか。

O) 院生になってから、先行研究ではこう言ってるけど、自分はこう考える、ってよく思うんですよ。高校生の時は、先生が言ったことを「そうなんや」と素直に受け入れてたけど、大学院では、いろんな研究や自分の結果を交えて「自分はこう解釈するから、次はこうやってみよう」って思うんです。やりたいことと自分の意見が出てくるのが、本当の意味での学習なんじゃないかな。それに自分の意見を出すためには知識が必要なので、それが高校生や学部時代に積み上げてきたものかな。

学部生のときの話ですが、博士後期課程の先輩と研究しているとき、意見の衝突が起きたことがありました。そのとき先輩から「君は学んでいるからこそ、主張できるんだね」って言われたんです。このことから基礎の積み重ねを通じて自分の意見を持つということが、抗う学習の意味なんじゃないかなと思います。

抗う学習者

前頁のお二人以外にも、LAの皆さんにどんな研究をされているのか、お伺いしました。日々研鑽を積む院生は「抗う学習」をどのように考えているのでしょうか。

〈質問事項〉

- ① 所属 ② どんな研究をしているか ③ なぜその研究をしているか
④ 研究の面白いところ ⑤ 「抗う学習」とは何と考えるか

- ① スポーツ健康科学研究科 博士前期課程
② 長距離走ランナーを対象とした、効率的なランニングフォームの解明
③ ランニングが大好きで、自身が強く・速くなれる方法を見つけたいと思ったから
④ 研究すればするほど己の知的好奇心が満たされると感じる
⑤ 不測の事態(予想に反する実験結果、機材トラブル、研究計画破綻など)に屈することなく、忍耐強く、柔軟に学ぶこと

- ① 法学研究科 博士前期課程
② 国際人道法:武力紛争(いわゆる戦争や内戦)に適用される国際法規則
③ 高校生の頃、ニュースや

授業を通してシリア内戦について知り、現地の惨状にショックを受けたこと

- ④ 比較的近代的な論点も、比較的古典的な論点も、どちらも扱うことができる
⑤ 常識に抗う:「こんなもの変えられない/解決できない/方法がない」といった世間や人々の常識に、学習を通して学問の世界を少しずつ進歩させることをもって、何とか抗おうとする営み?

- ① 文学研究科 博士前期課程
② 小説とオペラの比較研究
③ オペラがもともと好きだったのと、指導教員のアプローチが面白いな、と思ったのが動機です
④ 小説、オペラを比較することでわかることがあること、だと思います
⑤ 文学研究に関して言うと、特に古い作品や有名な作品はこれまでもたくさん研究されていますが、もしかしたら私が、私たちが研究すると何か違うものが見えるかもしれない、と思い研究しています
だからおそらくこれまでの見方や考え方へのささやかな抵抗ではないか、と思ったりしています

- ① 理工学研究科 博士前期課程
② 振動の力でピントの合う位置をずらすことのできるレンズの研究に取り組んでいます
③ 最近のスマートフォンは複数枚のレンズを搭載することが多くなっています
これをたったひとつのレンズで幅広い写真が撮れるようにしたいと思い、研究しています
④ 顕微鏡でレンズを通した画を見ていますが、実際に画が歪んで見えたときには動いたという実感があり、非常に面白く感じます
⑤ 抗うこととは人間の、あるいは技術の限界に挑戦することではないでしょうか。不可能であると
感じられることに
挑戦し続けることこそ
が求められている
と思います

「学び学びって言うけれど、そもそも学習ってなんだろう?」と、読者の皆さんが考えるきっかけになればという思いで、今回の特集は組まれました。もし本記事を読んで何か考えられたことがあれば、ASAで学習相談ついでにお聞かせいただけたら嬉しいです。本記事のアンケートには全て掲載しきれないほど多くの興味深い回答をいただいたので、どのLAに聞いてもきっとさらに考えが深まるはずですよ。

何ですか?

編集後記

「抗う学習」と聞くと、私は小学校で習った本返し縫いを思い出します。これは「一針進んだら一針戻る」を繰り返す縫い方です。時間がかかりますが、確実に、しっかりと縫うことが出来ます。私にとって学習や研究はこの作業の繰り返しです。ここでは、戻ること進むことと同義です。なので、この本返し縫いの思想が、私の「抗う学習」だと言えます。大学生生活でうまくいかないこともたくさんあると思います。でも、しんどかったら戻ってもいいんです。休んでも大丈夫です。そんなときに『COMMONS PRESS』を読んで、戻っているようで進んでいることを思い出してくれたら嬉しいです。(グローバル・スタディーズ研究科 山口)

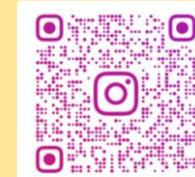
表紙のイラストは、ルイ15世の公妾(こうしょう)ボンパドゥール夫人です。彼女は並外れた美貌と優れた頭脳の持ち主でしたが、ルイ15世の関心を繋ぎとめたのはそれだけではありません。彼女はとても熱心な勉強家であり、したたかで何よりパワー溢れる女性で、文化の保護者でもあり、重要な政治的判断にも関わっていました。のちに彼女が庇護した啓蒙思想が影響し、フランスでは革命が起こりますが、これも歴史の皮肉のように思われます。公妾になった彼女は、「私の時代が来た」と言いました。天性の素質や才能に頼るのではなく、情熱をもって努力することが大切なのです。(文学研究科 久保)

Information

ラーニング・commons インスタグラムも
公式HP やってます



<https://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp/>



DOSHISHA.LC

アカデミックサポートエリア(ASA)

平日の10:30~17:30

学習相談受付中！予約不要です♪



良心館ラーニング・commons



ラーネッド記念図書館ラーニング・commons

COMMONS PRESS vol. 16

編集長 松本菜々子(文学研究科)
編集委員 山口沙妃(グローバル・スタディーズ研究科)
久保志織(文学研究科)
清水京香(文学研究科)
表紙デザイン 久保志織(文学研究科)
印刷 良心館プリントステーション
発行 良心館ラーニング・commons3F
アカデミックサポートエリア
(同志社大学学習支援・教育開発センター)
発行日 2023年2月14日